

米原市総合計画 第3回審議会「いきがい・安心」部会発言要旨

日時：平成18年11月29日(水)

15:00～17:00

場所：山東庁舎

1. 課長あいさつ

- 審議会の開催が滞ったことにお詫びする。
- 職員ワークショップ（検討結果）の成果を活用して構想を練り上げたいので関連な議論を願いたい。

2. 部会長あいさつ

- 米原市の特色がまだ見えてこない。
- 総合計画ができれば市民も職員も4町の一体化に向けて動くことができる。

3. 資料説明及び審議

〈人口予測について〉

委員：人口が減少する傾向にあることは理解するが、こんなにも減るのか。粟東は100人/月で増加していると聞いた。

事務局：推計なので誤差はあるが減ることは確実である。

委員：推計値を踏まえて、将来の市の姿を検討するのがこの審議会の役割だ。

委員：現状維持できるまちづくりが必要だ。

〈市民アンケートについて〉

委員：なぜその施策が不満なのかを明らかにする必要がある。
年代別の分析が必要だ。

事務局：現在、年代別、地域別の分析を進めている。

委員：新エネルギーに関する不満が高いがどのような内容か。

事務局：バイオマス、太陽光、風力等ができていないということである。

委員：医療の不満は地域別の分析が必要である。ケアセンターがある伊吹でも不満なのだろうか。

事務局：地域別のクロス集計を行う予定である。地域別に分析すれば例えば医療施設が近いところは不満が低く、遠いところは不満が高いと言ったことが見えてくるだろう。

委員：総合病院に対する市民要望があるがどう考えているのか。

事務局：市民ニーズに全ての応えることが可能とか最良とは考えられない。

委員：民間病院の誘致もあるのではないか。

委員：総合病院も立地場所によって評価は変わってくる。全市民の満足は得難い。

委員：市域をゾーニングし、適切な施設立地を検討すべきであり、それがまちの戦略になるのではないか。

委員：交通体系とリンクさせれば施設までの遠近は問題にならない。

事務局：医療施設も大切だが、今後は予防医療が重要になる。

委員：昔日赤病院立地の話があったと思うが、今思えば米原市に誘致しておくべきだった。そうすれば彦根・米原・長浜に1箇所ずつ総合病院があることになったのだが、残念である。

委員：交通に対する評価が低いのはどういう理由か。

事務局：道路、鉄道、バス全てについて聞いているので特定できないが、現状から考えれば道路に対する評価だと思われる。

《職員ワークショップの検討結果について》

事務局：この「生きがい・安心」部会に関する検討結果を説明（～グループ）

委員：職員ワークショップ検討結果は公開しても良いか。

事務局：オーソライズされたものではないので、内部資料として扱ってほしい。

委員：鉄道に固執しすぎているという職員意見もあったが、米原における鉄道の位置づけは今後も重要であり、おおいに活用すべき資源である。

また、若手職員には箱物行政を避ける意識が浸透しているようだ。

委員：補助金行政の見直しとあるが、市民によく理解してもらえるよう、うまく説明することが重要である。

委員：水戸黄門の印籠のようなものがあるとよいのだが。

事務局：夕張市の例もあるように、借金行政の危険さを市民に説明していきたい。

委員：バブル後の借金体質が今の困窮を生んでいる。

委員：国と地方の関係がいつまでたってもはっきりしない。

委員：国、地方とも厳しい状況にある。

事務局：みんなが冷静にものごとを見る必要がある。

委員：夕張市は国にあおられたあげく国に捨てられたようなところがある。

事務局：これからは市民と行政が一緒に考える時代である。ともに変わらなければならない。

委員：職員ワークショップ検討結果を受けて審議会では施策を議論するのか。

事務局：まちづくりの方向性（政策）を議論してほしい。ただし、イメージとして施策を話していただいてもけっこうだ。

委員：あまりにおおざっぱでは議論できないので、テーマを分けて議論したい。

委員：情報が多いので、一度持ち帰って読みこなし、次回に議論を進めたい。

事務局：建設計画も参照してほしい。

意見シートを用意したので活用してほしい。

とくにプライオリティについて意見がほしい。

委員：他のテーマについても意見を言いたい。

3. その他

- 第4回計画部会：12月7日（木） 13:30～15:30 米原公民館3B会議室
- 第5回計画部会：12月21日（木）午後の予定（副部会長の都合により変更あり）